



タイ

1 職業教育短大強化事業

A

B

C

D

工業短大において機器整備や教員研修等を行うことにより、職業教育の質の向上を図り、もって高度化が進む産業界の技術水準に合致した人材の育成に寄与する。

承諾額/実行額 78億600万円/72億2,600万円
 借款契約調印 1994年9月
 借款契約条件 金利3.0%、返済25年(うち据置7年)、一般アンタイト
 貸付完了 2002年1月



外部評価者 三島光恵(OPMAC株)
 現地調査 2003年6月

評価結果

本事業では、ほぼ計画通りに教育機器の供与、校舎の建設、教員の研修が行われた。機器選定に際して短大側からの承認に時間を要したこと、機器の配送・設置において、複数国の企業から調達したため複雑な調整が必要とされたことなどから、期間は計画を上回ったが、事業費については、ほぼ計画通りであった。教育機器の稼働時間は、1週間あたり平均19時間とおおむね良好であり、本事業対象21校中、受益者調査に回答した18校のすべてから「調達された機器全体の70%以上を利用している」との回答を得た。また、「機器の充実により効率的な授業が可能となった」「新たなコースの開設等、授業内容が向上した」等の声も聞かれた。さらに、本事業対象校の卒業生を雇用する企業でも、卒業生の知識および技能が対象校外の卒業生に比べて高く評価されていることが

確認された。卒業生数は1997年の2,700人台から増加し、98年から2001年は毎年3,000人台を維持している。受益者調査からは、地方における教育機会の増加と産業投資・雇用の促進にも貢献したことが判明した。各校の技術および体制面は問題ない。一方、財務面については、教育省の予算にあまり変化がない中、各校の予算は99年以降減少傾向にあったが、05年には前年比5%増加する予定である。

第三者意見

本事業は、タイの経済成長を下支えしている高度な技術者の輩出に貢献している。同国の一般的な課題として、機器の運営・管理能力の強化が望まれる。

有識者 Mr. Narongchai Akrasanee

ジョンスホプキンス大学博士課程修了(経済学)。元商務大臣。
 現在MFC Assets Management Plc.会長。専門は経済学、財政学。

チェンマイ工業短大



電気・電子関係の機器を使って実習をする生徒



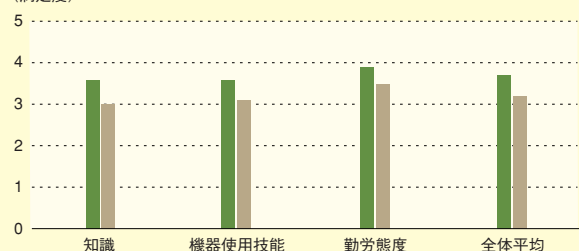
供与されたコンピューターを使った授業風景

雇用者による工業短大卒業生の評価(受益者調査)

本事業対象校の卒業生を雇用する企業において、卒業生の知識および技能が対象校外の卒業生に比べて高く評価されている。

■ 対象校 ■ 対象校外

(満足度)



注:1998~2000年の間に本事業対象校を卒業した193人を雇用している雇用主70人に対してインタビューを実施した結果。

雇用者が「1:不満」~「5:満足」として、各項目の満足度についてレーティングをしたもの。